

羽村市議会議員

日本共産党

鈴木たくや 議会/活動報告 No. 9  
2009. 10. 15

# すずたくだより



事務所 富士見平1-4-1松沢コーポ101 電話080-1058-9450  
パソコンで好評!活動日記 <http://suztaku.blog.ocn.ne.jp> メール [suztaku@ab.cyberhome.ne.jp](mailto:suztaku@ab.cyberhome.ne.jp)



## 国や都で新しい政治の動き生まれるもと、 羽村市政も前向きに変えていく ためがんばります

◆市民のみなさんこんにちは。共産党の鈴木たくやです。7月都議選、8月衆院選でいずれも民主党が第一党を獲得しました。これまでの自民・公明政治とくらべ、政治が良い方向に変わる可能性が生まれていると感じます。  
◆私たち共産党は、民主党の良い政策については積極的に後押し、見直した方がよい政策は正面から議論をし、政治を一步でも前向き

に変えるためがんばっていきます。

◆9月の羽村市議会でも、鳩山首相がうちだしたCo2削減目標に対応した、積極的な羽村市の目標を設定することを求めました。  
◆また住民合意のない大型開発である羽村駅西口区画整理事業も一時停止し、福祉・子育て支援などに予算を優先的にまわすよう主張をしました。実現にむけがんばります。

## 子どもの医療費無料化(入院。通院は1回200円) 10月からスタートに



◆「子どもが病気の時ぐらい、財布の心配なしで病院に行きたい」との保護者の願いが大きく前進しました。今年10月から中学3年生までの子どもの入院費は無料、通院は1回200円に。

◆東京都と羽村市が予算を出し合っておこないますが、日本共産党は東京都議会でも羽村

市議会でもいっかんして中学3年生までの医療費無料化を提案・主張しつづけ、署名活動などにもとりくんできました。

◆子どもを生き育てやすい環境を整備することは、お金はかかりますが、長い目でみれば市の発展に必ずつながります。さらに子育て支援を強めるため、努力していきます。

# 小・中一貫 教育校

## 「最終報告」出る。問題点が多く、計画の中止を求めます



9月30日、小中一貫教育校・検討委員会が教育長に「最終報告」を提出しました。

市民の声に押され「行事は各小学校・中学校でおこなう」などの現実的対応も含まれています。しかし、根本的な問題点がいくつも残されており、実施は教育現場の混乱を招くことが必至です。

### そもそもなぜ一貫教育校？

●不登校や学力の問題に対応することが目的とされています。しかし、現場の先生からは一貫校が必要との声はまったくあがっていません。いったいどこから出てきた発想なのでしょう。

### 5,6年生は教科担任制が基本に？

- 現在は小学校では、担任の先生が基本的にすべての教科を教える「学級担任制」です。
- 教科ごとに先生がかわる「教科担任制」は、小学校でも、一部の授業で導入されていますが、今後は5,6年生では「教科担任制を基本」とする方向が示されています。
- 専門的な指導が期待できる反面、子どもを全面的につかむことや、クラス作りが難しくなるなどの問題点が考えられます。

### 三中と一・二中との格差は？

- 武蔵野小と三中を接続する橋を2億円の予算で建設する方向が示されました。
- 隣接する武蔵野小・三中への特別扱いでは？との意見や、両校の子どもは9年間メンバーが変わらなくなることの弊害が指摘されています。

### 中学校の先生が小学校に教えに。うまくいくの？

- 数学と英語の中学校教員が小学校6年生に教えに行くことが示されています。(算数：週1回、英語：月1回)
- その穴埋めに、市が採用した講師などが中学生の授業を担当することになります。
- 小、中の教員同士、また講師との打ち合わせに手間がかかる、中学校の授業の質や連続性が失われてしまう、などの問題点が考えられます。



### 市民の声で計画は中止させよう

「新しい仕組み作りにばかりに熱中して、子どもが落ち着いて学べる学校づくりが置き去りにされている」— 多くの父母や教員からあげられている声です。

すでに小中一貫校を実施している自治体からは、教育現場の混乱が報告されています。

少人数学級の実施、学習サポーターの増員、提出書類の簡素化などにとりくみ、教師が子ども一人ひとりに向き合える時間を確保することこそが必要ではないでしょうか。パブリックコメントや説明会で声をあげていきましょう。

# 羽村駅西口 区画整理

市の設計図に半数近い住民から「納得できない」の意見。抜本的見直しを！



◆羽村市は、羽村駅西口の42ヘクタールという広大な地域を「まっすぐ道の町並み」に作り変えるという区画整理事業をすすめています。

◆そのためには、住宅を移動したり、土地やお金を差し出す必要があるため、ねばり強い反対運動が続けられています。

◆羽村市は昨年2月に具体的な設計図（換地設計案）を発表し、住民から意見を求めたところ、権利者1,243人のうち580人から意見書が提出されました。そのほとんどが「納得できない」の声です。

◆現在、市はこの意見書を反映させた「新しい設計図」をつくって住民の合意をはかり、計画をすすめていくとしています。

○意見書を提出したのは、4人の方でした。

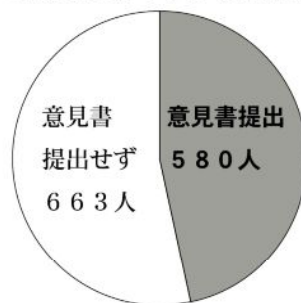
○賛成の5人のうち4人は「条件つき賛成」で、「今のままの設計図だったらいい」けれども、「設計図がかわってしまったら賛成するかどうかはわからない」という方でした。

○一方、反対7人のうち6人は「強く反対」の方で、「そもそもこの開発はやるべきでない」などの意見をお持ちでした。

## 住民からの聞き取り調査結果

賛否	意見書提出	意見の分類
賛成 5人	0人	条件つき賛成 4人
		その他 1人
反対 7人	4人	条件つき反対 1人
		強く反対 6人
どちらとも1	0人	

## こんなに多い、市の設計図に対する意見



### 意見書の内容 (トップ3)

- ①位置について 192人
- ②間口形状について 156人
- ③補償について 92人

◆私は具体的にどんな声があるのか、まちの一画を歩き、聞き取り調査をしてみました。

◆話が聞けた13人の意見のうちわけは、  
○西口開発に賛成の人は5人、反対の人は7人でした。

◆このことから、

①意見書を提出していなくても反対の意見をもっている方は多くいる。

②設計図を見直ししても、全体として賛成の方が増えることは考えにくい。

ことが伺えます。

◆住宅が立ち並ぶ羽村駅西口を「まっすぐ道」に作り変えることは、やはり無理があります。計画は一時中止し、抜本的に見直すべきです。



市民から提案されている「現在の町並みを生かした」西口の整備へと切り変えれば、住民負担も予算もずっと少なくてすみます。抜本的見直しにむけ頑張ります。

## 企業から羽村市への税金が予想をうわまわるマイナスに

◆3月の予算では約8億円の税金が企業から入ることを見込んでいました。しかし、予想以上に不況の影響は深刻で、その後半分の約4億円に下方修正。しかも、昨年度税金を多く取りすぎていたため、4億円以上の税金を返す事態になっています。

◆西口区画整理など、住民合意ができていない大型開発を一時中止し、福祉や子育て支援など、暮らしを守る仕事に優先的に税金をまわすよう、ひきつづき声をあげていきます。

## 暮らしやすい羽村市政に

—共産党市議団のとりくみから

### お年寄りの医療費無料化を

9月議会では、75歳以上のお年寄りの医療費を無料化する提案をおこないました。日の出町では今年4月からこの制度がスタートし、大変喜ばれています。



「年をとることが悪い」かのような後期高齢者医療制度を廃止し、安心して医療を受けられる制度にするため、提案を続けていきます。

### 給食でアレルギー対応食を

市内の食物アレルギーの子をもつお母さんから409人の賛同者を得て「学校給食で食物アレルギー対応食を」との陳情が6月市議会に提出され、趣旨採択されました。



「アレルギーを持つ子どもも、一緒に給食が食べられるように」の声に羽村市は応えるべきです。

### 動物公園通りの改修すすむ

動物公園～福生市境までの改修が終了し、車、歩行者ともに格段に通行しやすくなりました。次は日野自動車横の工事です。

学校などが沿線に多い道路だけに、大型車の規制続行などで安全第一の対応がとられるよう、要求を続けます。



### 水上公園 プールサイドの改修すすむ

夏になると子ども達にぎわう多摩川近くの水上公園。プールサイドが劣化し、歩くと痛いほどにガタガタでした。市へ要望をとどける中で改修がすすんでおり、安心して利用できるようになりました。



### レクリエーション広場のトイレを水洗化に

多摩川の対岸の広場で保育園の行事やキャンプの際に「トイレが怖い」子どもが続出。臭いがなく、水洗式のものにすべきとの要望をしています。

他にも様々な問題に取り組んでいます。ご意見・ご要望などぜひお寄せください。(080-1058-9450)

日本共産党発行の

しん 赤旗  
ぶん

くらしの視点で、政治のこと  
社会のことわかりやすく

●日曜版 月800円  
○日刊紙 月2900円

お問い合わせ・お申し込みは、電話 080-1058-9450 まで